

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	市財政運営管理業務				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	総務部	課等名	財政課		包含する細々目							
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	94 効率的、効果的な行財政運営											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	一般会計及び特別会計	会計数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			17				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			17				
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	・赤字団体とならないよう、持続可能な健全財政を維持する	財政再建団体になるかどうか なる・・・1 ならない・・・0	18目標	0	最終目標	0	0
			18実績	0	19目標	0	↑
			23目標	0	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・予算編成と決算統計を通じて、当市の財政状況を分析し財政見直しを作成する。 ・一般会計及び各特別会計の管理を行う。 ・交付税、起債等の事務を行う。	18年度の実績 ・予算編成、予算執行管理を通じて、一般会計の管理を行う ・各特別会計の繰出金管理 ・交付税、起債管理事務 ・決算、決算統計事務 ・財政見通しの作成	一般会計当初予算額 特別会計当初予算額	39850000 49036101
		19年度計画 ・予算編成、予算執行管理を通じて、一般会計の管理を行う ・各特別会計の繰出金管理 ・交付税、起債管理事務 ・決算、決算統計事務 ・財政見通しの作成	一般会計当初予算額 特別会計当初予算額	39860000 51655048

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源		
	事業費計(A)	0	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 10,800	19年度 10,800
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	38,621	38,621
	トータルコストA+B	38,621	38,621

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	効率的、効果的な行財政運営上なくてはならない事業である。	集中改革プランの目標達成度	現状値	-	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	100
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 市制発足以来、財政運営は欠くことができないものである。	事業を取り巻く状況の変化 法律や制度の改正、合併等の様々な状況は変化し ていく中での財政運営となる。	事業に対する市民や議会の意見 議会で予算、決算に対する審議を受けるとともに、市 の財政状況を公表しながら、市民や議会の要望に 応えている。
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	市政運営の根本になるものであり、すべての上位目的に結びついている。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 余地がない (その理由)	健全財政維持のため
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)	特別会計の設置は市の判断によるものもあるため、状況により増減の可能性はある。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)	行政運営上不可欠なため
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)	健全財政は市政運営の根本であるため		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)	
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)	市の財政運営のため、市が責任をもつ。		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)	市税や使用料等という形で市民の皆さんから負担をお願いしている。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 予算編成方法の検討 行政評価と予算編成を連動を図るよう引き続き検討する。19年度当初予算から導入した「要求枠配分方式」を定着できるように取り組む。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	